

# 講 義 要 項

授業科目		地域・在宅看護論概論		担当者	瀬尾 まどか
区分	単位数	時間数	授 業 形 態	履修年次・前／後	
	1 単位	15 時間	講義・共同学習	2年次・前期	
授 業 目 標					
地域・在宅看護論の基盤となる概念を理解し、地域包括ケアシステムの中で求められる役割や、対象の生活を支援するための保健・医療・福祉制度の実際について説明できる。					
単元名	目 標		時間	単位	授業方法
1. 地域・在宅看護の目的と役割	在宅看護の背景から、地域での看護活動の変遷と現状及び、在宅看護の必要性と、求められる役割について解釈することができる。		4		講義 共同学習 プレゼンテーション
2. 在宅療養の支援	在宅看護の提供の場とそれぞれの特徴から、療養の場における支援と、看護師の基本的活動とその視点について述べる ことができる。		4		講義
3. 地域・在宅看護に関わる制度とその活用	法・制度の理解をふまえ、訪問看護制度とサービス提供の具体的な内容を理解し説明することができる。		6		講義 共同学習 プレゼンテーション
	修得試験		1	1	
参考文献等	1. 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論（1）地域・在宅看護の基盤，医学書院。 2. 国民衛生の動向，厚生労働統計局。				
評価	1. 単位修得試験及び授業態度				
備考	実務経験：訪問看護師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。				